

# 中村良広教授の退職記念号によせて

学 長 細 江 守 紀

中村良広先生は、1972年3月に北九州市立大学商学部をご卒業後、九州大学大学院経済学研究科修士課程に進学されました。1977年3月に九州大学大学院経済学研究科博士課程を単位取得退学後、同年4月より九州大学経済学部助手としてお勤めになりました。その後、鹿児島大学、北九州市立大学で教鞭を取られ、2005年に熊本学園大学経済学部教授として着任されました。

学務ご多忙な中、2010年1月から2011年12月までリーガルエコノミクス学科長、2012年1月から2016年3月まで大学院経済学研究科長をお務めになりました。

先生のご専門は財政学、地方財政学、租税論であり、とくに現代ドイツの税制改革、現代日本の税制改革などを検討課題とされてきました。研究成果につきましては、『経済・財政・社会保障のこれまでとこれから』地方自治総合研究所（編、2019）、『安倍政権下の地方財政と地域』地方自治総合研究所（編、2014）、『所得税改革—日本とドイツ—』（単著）税務経理協会（2013）などの書物とともに、論文「『持続可能な社会』と税制—配偶者控除見直し問題にふれて」（単著）生活経済政策研究所（2011）「住民税における再配分政策導入の動きとその課題」（単著）『税』2009年11月号、「平成大合併と熊本市—政令指定都市への挑戦—」（単著）『自治総研』2009年9月号を含め、業績一覧にある多数の学術論文や学会報告があります。

中村先生は大学院での財政学特殊研究・演習、地方財政論研究指導・演習を担当され、特に税理士試験免除科目担当として多くの修士課程に入学する学生の指導をされ、これまで合計61人の修士学位取得に貢献されました。税理士志望の様々なキャリアの学生に対して一学年の複数の修士課程学生をつねに持たれ、その指導に精魂込めてあたられました。また、これまでのゼミ学生からの浄財を本学に寄付していただき、大変感謝しています。このような寄付は異例であり、先生のご教育熱心さと学生から慕われたことの結果であると思います。

中村先生は大変気さくな方で、何度か大学の行き帰りに楽しく歓談させていただきました。中村先生は自他とも認める蕎麦通でして、いつか蕎麦でも食べにいきましょうと話していましたが、約束が果たせないままになっていて大変心残りです。ぜひとも実現させたいものです。

長年にわたって本学の発展にご貢献いただいた中村良広先生は、2021年3月をもってご退職となりました。先生の残された財産を大切に活かして、地域においてさらに輝く大学へと発展

させていくことが後進としての私たちの役目です。

中村良広先生の今後のご健勝とご活躍を心より願ってご挨拶に代えさせていただきます。